

2021年7月29日

## **SAAJ** NEWS RELEASE

### 「国際サステナビリティ基準審議会を設立するための IFRS 財団定款修正案」について意見書を提出

公益社団法人 日本証券アナリスト協会（会長：新芝 宏之 岡三証券グループ 代表取締役社長）は、2021年4月にIFRS財団から公表された公開草案「IFRSサステナビリティ基準を設定する国際サステナビリティ基準審議会を設立するためのIFRS財団定款の的を絞った修正案」に対して、7月28日に意見書を提出しました。

#### 【意見書のポイント】

- ✓ 近年、金融・投資の意思決定を行うに当たって、サステナビリティ報告によって提供される情報の重要性が飛躍的に増している。我々は、高品質で一貫性と比較可能性を備えたグローバルなサステナビリティ報告基準に対して、アナリストや投資家の緊急の要望があることを認識している。よって、IFRS財団がIFRSサステナビリティ基準を設定する国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）を設立することを強く支持する。
- ✓ ただし、ISSB設立に当たり、次の点については検討が必要と考える。
  - ISSBメンバーの構成は、多様性を確保するため、全体の地理的バランスを確保するルールが必要である。また、ISSBの議決要件は、IFRS会計基準並みの厳しい要件を原則としつつも、特に高い開発の緊急性が識別された基準については、厳格なデュー・プロセスの遵守を前提に、要件の緩和を図るべきである。
  - 基準の名称は、基準の機能を正確に表現するため、IFRSサステナビリティ基準ではなく、IFRSサステナビリティ報告基準とすべきである。
  - 財務報告とサステナビリティ報告の将来的な統合を見据え、国際会計基準審議会（IASB）とISSBの公式な対話の場を定款に定めるべきである。

【添付資料1】 *Re: IFRS Foundation Exposure Draft “Proposed Targeted Amendments to the IFRS Foundation Constitution to Accommodate an International Sustainability Standards Board to Set IFRS Sustainability Standards”*

【添付資料2】 公開草案「IFRSサステナビリティ基準を設定する国際サステナビリティ基準審議会を設立するためのIFRS財団定款の的を絞った修正案」について

本件に関するお問い合わせは下記まで

**SAAJ** 公益社団法人 日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1200

担当：企業会計部部長 土谷 敬